

Rugby Union Presentation

日時 2022年6月25日
会場 兵庫県ラグビー協会

6月25日開催の会合の内容をまとめました。

プロジェクトへの皆様のご意見は、概ね「総論として賛成」であるが、実現にはいくつかのクリアすべき課題があり「各論については要審議」であったと認識しております。

今後のアクションに先駆け、まずは会合でいただいた課題と対応を以下の通り整理しました。

- ① 顧問の教諭の中には部活動指導に疲弊している方が多く見受けられる。
あらたな取り組みについて積極的な参加は期待できないのではないか。

→まずは参加に積極的な学校を主体として、小規模でもスタートさせていく

- ② 拠点校に他校の学生が集まり活動する際の責任問題はどのようにするのか。
当該の校長および管理職の方々の理解、協力が得られにくいのではないかと。

→従来の練習試合、合同練習と同様の対応でカバーできる面が大きいのではないかと
拠点校の負担が無いように必要に応じて各校、および個人の承諾書等を準備する

- ③ スケジュールの面で、公式戦に加えユニオンマッチを組み入れる余裕があるのか。

→公式戦のスケジュール決定後にユニオンのスケジュールを設定し、トーナメントなどの進行には柔軟性を持って対応する

- ④ 単独でチーム編成が可能なチームが参加する場合の対応はどのようにするのか。

→基本的にユニオンマッチでは学校を越えてユニオン独自のチーム編成を行う
マッチでは編成されたチームの勝敗を最優先するのではなく個人の経験と能力向上、学校を越えたコミュニティの創造を目的とするためである
各学校単位でのチーム力向上とユニオンでの活動のバランスは各校の裁量とする

- ⑤ 平日の活動は、部活動として大きく制限がかかっているため困難ではないかと。

→平日の学校施設での活動には様々な制限があるため、それらの対策を練りながらまずは週末のプログラムを主体に実行する

市尼崎主導での阪神地域での活動や加古川西、姫路工などによる播州地域での活動など、今回ご提案したプロジェクトと同様の活動がすでに実施されていることも理解できました。

プロジェクトはこのような活動を県内全エリアに広げるためのプラットフォームを創るものです。皆様のご理解とご協力のもとに実現させたいと考えております。よろしくお願いたします。

田中佳成